

ファーストペインギン通信

第24号
発行日
令和4年9月16日（金）
発行人
八王子実践中学校
中学部長 石川敦史

今年度の文化祭は3年ぶりに有観客で実施されました。入場者は午前・午後それぞれ1000人までとし、事前に予約した人だけが入れます。参加者は、予約したときに発行されたQRコードを受付に見せて、入場します。

明鏡祭のパンフレットも各参加者のスマホにダウンロードして、会場の様子を知つてもらいました。そして、パンフレットの表紙にはなんと中学2年箭内さんの作品が選ばれました。



箭内さんはお父さんの影響もあり、小さい頃から絵に親しんでいたそうです。現在は、美術

部に所属し、絵画を基礎から学んでいます。

百花繚乱というテーマから伝統美の着物とたくさんの花々で作品を完成させたそうです。

2年 射的+映えスポット



おもちゃの銃を準備し、一人5発まで撃つことができます。ただ、弾がどこに飛ぶのか、打つたびに方向が微妙に変わるために、なかなか難しいです。倒したコップやペットボトルの合計得点で景品が決まります。手作りの景品もあり大人気でした。



明鏡祭 実施しました

速報 感染対策をしっかりとって R4 9/10, 11



↑ 映えスポットにて

2年 謎解きゲーム



教室を2つに区切り、それに、殺人事件の証拠が散りばめられています。参加者は、マジックランプを証拠の紙に当てて、犯人を捜します。床の上に丸められた紙を拾っても、ハズレなどと書かれていて、一向に埒（らち）が明かないのです。制限時間が迫ってくるので焦りながら、壁の紙にランプを当て

ると、浮かび上がりました。



けれども、直接犯人の名前が書かれてるわけではありません。ヒントだけです。それも2枚以上の紙に書かれた謎を解いていくのです。まさしく、思考力・判断力を鍛えてくれます。

3年 お化け屋敷



とにかく、暗い。何も見えません。入場するときも、後ろ向きに入らねばなりません。廊下からさす光で中が見えないよう

にするためです。

床に置かれた紙の寝袋に入っている人、怖いお面をつけてじっと座っている人、通り過ぎると知らないうちに後ろに忍び寄ってくる人。とにかく、怖かった。



何も起こらないことがどれほど怖いのかがよくわかりました。動画も撮りましたが、何も写りませんでした。ただ、悲鳴ともうなり声ともつかない音声がビデオカメラに残ったいただけです。動画編集困るでしょうね。

最後に

2日間で保護者の皆様、卒業生、来年度本校を受験予定の小・中学生や保護者の入場者数は、2,225名でした。来年度は入場制限なく実施したいものです。

ご参加ありがとうございました。お礼申し上げます。